

豊かな実りは自然の土壌から

『自然環境農法』



アープ・トーマス・オルガ菌と共に土づくりから

土づくりは、作物を健康に育てる基本です。

この基本を大切に当社は自然環境農法を推進致しております

花卉類の基本的な使用方法

使用方法（10a当たり）

目的	使用時期	通常使用方法
初期からの土壌改良からの場合と	作付け1～2ヶ月前より	堆肥（約1～3トン）散布時に、源肥10～20袋・ミネラルこんぶ5～10袋・トーマスくん8～12ℓを散布耕起し、十分に散水してからビニール養生する。（初回の分量です。） 注、病害発生の際は3～4ℓ増しに。
栽培期間中	約30日周期で	トーマスくんと宝水を1～2ℓずつ混合して葉面又は灌水チューブ等で散布するとよい。（予防効果と菌種のバランス保持）以後繰り返して行う。
中途からの使用	随時	栽培中トーマスくんと宝水を初回3～5ℓずつ混合して葉面又は灌水チューブ等で散布する。以後20～30日周期で1～3ℓを繰り返しながら健全生育と土壌改良効果を促して行く。

散布は、水150～200ℓ程度の水で、均一に土が湿った状態の方が良いです。

施肥関係

※現行の施肥方法が良いですが、化成肥料使用は5～7割程度少な目にして下さい。

※堆肥は、必ず炭素率を整って下さい。一番の注意事項です。



参考に

※状況が窒素過多気味の時や茎や葉が柔らかか時は宝水カル1,000～2,000倍で1～2回散布は効果あります。

※害虫予防にはバイオ無敵1000倍液で。

※土中含有は水分を現行栽培よりやや多目の方が効果良いです。

